

肌で感じる高原の風、足で味わう森の道。

# 森林浴を満喫! 竜頭山コース

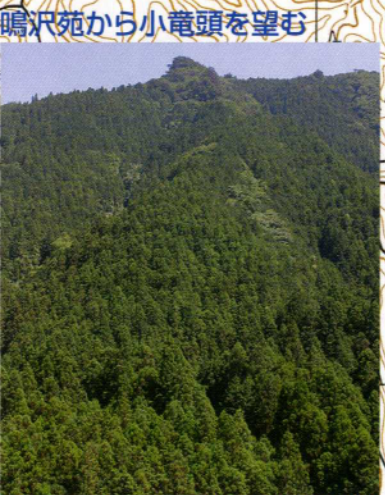


新城市

急な坂道を上り詰めると、そこに広がるなだらかな稜線。  
木々のささやきを聞きながら、やわらかな森の道をのんびり歩いてみませんか？



山頂からは、木々の間から北設楽郡の山々を見渡すことができます。



鳴沢苑から見上げると角のように飛び出た小竜頭が見えます。



村の天然記念物。村の北端にある落差15メートル、水量も豊富な界限随一の名瀑。

小竜頭分岐点～竜頭山～大竜頭はなだらかで広い稜線のため迷道注意。地図とコンパスは必ず持とう。

**コース概要**

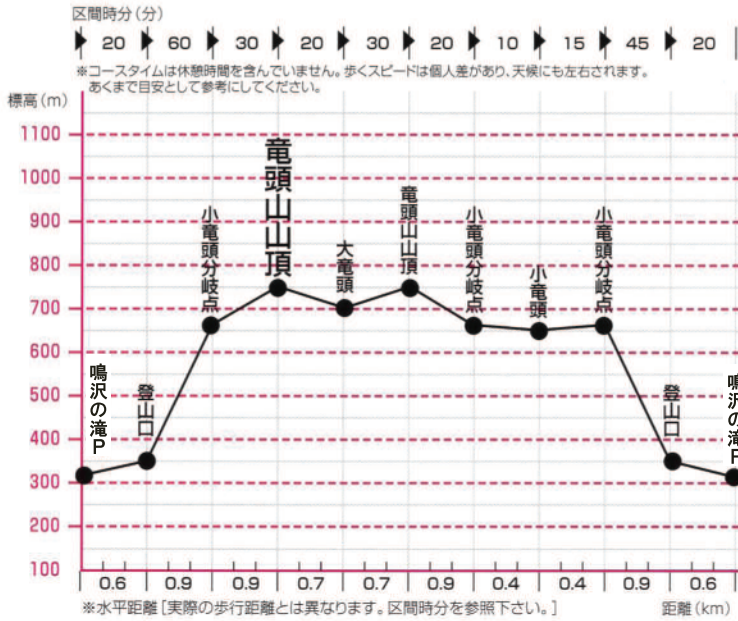
- 所要時間 / 4時間30分
- 距離[水平] / 7.0km
- 標高[山頂] / 752.3m
- レベル / ★★★☆☆ 一般向け

※中級者向け。技術面は問題無いが、ある程度の体力が必要。

# 森林浴を満喫! 竜頭山コース



## INFORMATION [コース情報]



**登山適期** 3月~12月

**コースの特徴**

登山口から小竜頭分岐点までは高度をかせぐ急傾斜の道。木々の隙間から小竜頭・守義集落を望むことができます。稜線に出ると高原を思わせるなだらかな道。大竜頭・小竜頭は断崖があり、一転スリリングな道となります。

**見どころ**

春から夏にかけては木々が茂る緑いっぱいの道。秋から春にかけては落葉のため所々で守義集落・設楽町の集落や山々、遠く南アルプスまで望むことができます。

**バックアップ施設**

- トイレ: 守義公衆便所
- 駐車場: 小滝集落内の県道路肩に5~6台。鳴沢苑の駐車場利用についてはお問合せ下さい。

**携帯電波状況**

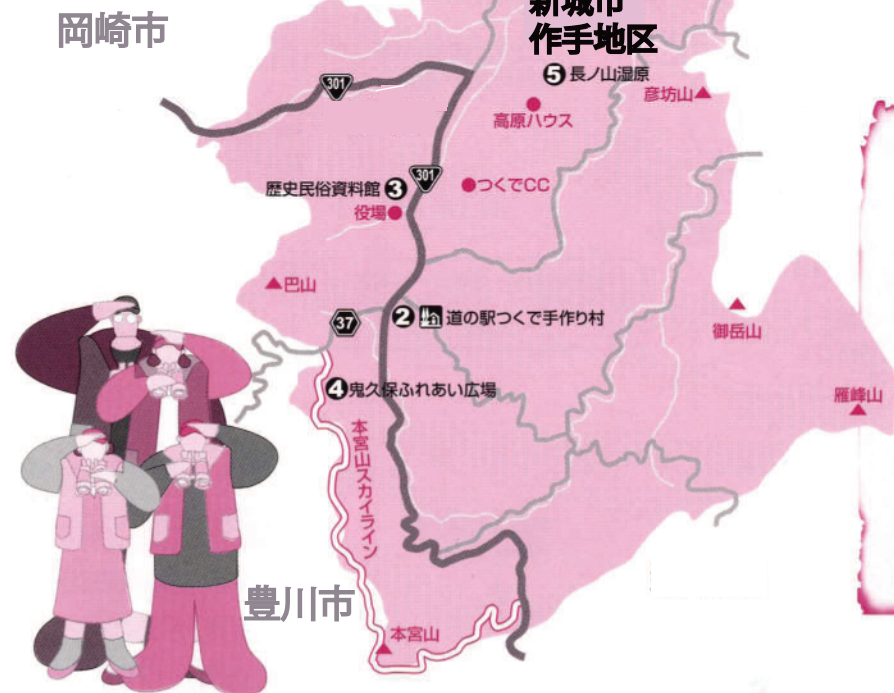
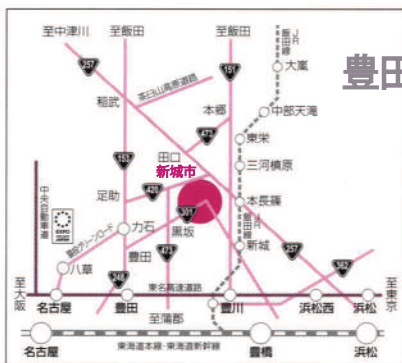
おおむね良好です。☎

## ACCESS [交通アクセス]

**マイカー**

東名豊川ICから  
国道151号→国道301号→県道35号→  
鳴沢の滝P

●詳細地図



竜頭山「つくでの昔話」より

**昔話**

(前略)竜頭山に霧がかかると雨が降るといわれ、昔の人は、竜頭山にすんでいる竜が雨を降らせるものだと考えていました。

(中略)大昔のころは、竜頭山にすんでいる竜は、冬でも岩の上でいたといわれています。大輪村のある男が、寒中に山を登って見に行くと、確かに竜がいました。その背中が凍傷ではれがあり、皮がとろとろと破れて、竜はブルブル震えていました。男が「やせ我慢はやめて、南の暖かい国へ行くのが利口だよ」といって、竜は「そうだなあ」とうなずいて、南の空へ向かって飛び去ったといわれています。

また、竜頭の神の使いは、ママシだとはいわれています。ママシはたくさんいますが、かまわない限り人をかまわないこととはなりません。が、いじめたりすると、幾十、幾百ものママシが群がり襲ってきて手にあえないらしいです。

※コースの一部を除きほとんどが登山道となっています。ご利用の際は、事前にコース状況をお問合せいただくとともに、ご自身の体調や体力に充分配慮し安全に楽しい登山をお楽しみください。又、火災予防にもご協力ください。

その他お問合せ

- 新城市観光協会 TEL. 0536-29-0829 ●豊鉄タクシー[新城営業所] TEL. 0536-23-5811
- JR東海テレフォンセンター TEL. 050-3772-3910 ●豊鉄バス[新城営業所] TEL. 0536-24-1141

●コースのお問合せ **新城市観光課 Tel.0536-23-7613**

踏査: 山野WALK